

令和6年度 第4回 みどりっ子育成協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年1月31日(金) 14時00分から16時15分まで
- 2 開催場所 新原小学校 パソコン室
- 3 出席委員 嶋田 ゆかり、クリステンセン 勇美、田口 保司、岩谷 智之、下石 雅子、山岸 麻美子、森島 しのぶ、森田 歩、西尾 孝治
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 椛 通安(亀玉協働センター職員)
- 6 学 校 中村 憲司(校長)、二橋久美子(教頭)、片瀬 智美(教務主任)、服部 美保(CSディレクター)
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 服部 美保
- 9 議長の選出

司会のクリステンセン委員から、議長の選出について田口会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 3学期の教育活動について
- (2) 学校評価の結果を受けた令和7年度学校経営方針について(仮承認)
- (3) 自己評価について(グループ協議)
- (4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)の報告について

11 会議記録

司会から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 3学期の教育活動について

議長の指示により、片瀬教務主任から、3学期の教育活動についてスライドにて説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・来年度、浜松市陸上大会がなくなると聞いている。部活動についてはどうか。(西尾委員)
- ・令和7年度から本校の部活動は廃止する予定。(中村校長)
- ・スポーツをする機会が少なくなる心配がある。体を動かすことは必要だと思う。(田口委員)
- ・学校に作業療法士が配置されるかもしれないという話を聞いたことがある。(山岸委員)
- ・スポーツテストは継続されるのか。(西尾委員)
- ・新体力テストという形でやっている。(中村校長)

(2) 学校評価の結果を受けた令和7年度学校経営方針について(仮承認)

議長の指示により、二橋教頭から新原小学校向上プランについて説明があり、引き続き中村校長からは令和7年度学校経営方針について説明があった。委員からは以下の発言があった。

- ・重点的取組の中に学力(各教科で育む資質・能力)とあるがどういうことか。(山岸委員)
- ・①知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体的に学びに向かう力の3つの観点からみている。知識だけがあっても活用することができなければ意味がない。(中村校長)
- ・主体的な学びに持っていくには根気がいると思う。先生方の負担はどうか。(山岸委員)

- ・主体的な学びというのは今まで全くやっていなかったわけではない。一律に教え、一斉に答えるのではなく、個々の進度に応じて伸ばしていくというやり方。できる子には声掛けしたらもっと自分で伸ばせるし、進むのが難しい子には丁寧にみていく。(中村校長)
- ・できない子にも諦めずに勇気づけていくことが大切。かなり寄り添ってあげないと。(山岸委員)
- ・できない子ばかりに寄り添うのはいけないと思う。寄り添う基準をどこに置くのが難しい。学校全体として学力が低下しないか。(岩谷委員)
- ・できる、できないという括りもしないで、自分で気づき自ら学ぼうとする気持ちを育てたい。学力は下がらないという気持ちでやっている。(中村校長)
- ・個人の能力が上がってもテストの点に反映されるとは限らないと思う。(山岸委員)
- ・テストの議論も必要だと思う。点数をつけることが必ずしも必要なのか。近年、共通テストの内容も大きく変化している。今の試験で個々の資質が測れるのか。学校から家庭にもしっかりと伝えなければいけない。(中村校長)
- ・1月25日付中日新聞に、個別最適化について記事が掲載されている。校長先生がおっしゃることそのものだと思った。(山岸委員)
- ・学校教育目標の中の「国語や算数の学習内容が分かる」の目標値が90パーセントとなっているが、これはどのような意味か。(下石委員)
- ・その子にとっての90パーセント理解できているということ。児童がどのようにとらえているのかを知りたい。(中村校長)
- ・児童本人と保護者の満足度が違うとよくないと思う。学校と保護者の対話が必要だと思う。(下石委員)

協議の結果、令和7年度学校経営方針については仮承認された。

### (3) 自己評価について(グループ協議)

前回の会議に引き続き今年度の自己評価を、グループに分かれ、課題と対策について協議を行った。

#### A グループ(田口委員、山岸委員、森島委員、嶋田委員、森田委員)

- ・課題1 ボランティアは充実してきたが、人材が固定化している。人脈に頼っている。気軽に参加できるような手立てはないか。  
→自治会等回覧の仕方に工夫を。地域の協力が必要。
- ・課題2 地域と保護者が一体となって学校を応援できる仕組み。ウェルビーイングの実現を支える。個別最適・主体的な学びをどうサポートするか。  
→学校に対する理解を深める必要。学校基本方針や取り組みの具体例について。子供たちの自己実現には安心感が必要。安心して通える学校。安心・安全な環境。

#### B グループ(岩谷委員、西尾委員、下石委員、クリステンセン委員)

- ・課題1 子供のけじめについて。先生との関わり方。  
→旗当番へのあいさつ。(例 中学校でポイントもらえるイベント)
  - ・課題2 多様な立場からの意見交換。出された課題がその後どうなったか経過の見届けが難しい。ゾーン30の活かし方。
  - ・課題3 コミスクの広報。周知度や達成度はどう測るか。  
→さくら連絡網を活用した方法。回覧板の活用は継続したい。
- ※ [ ] については今後やってみたいと思うこと。

グループごとに発表を行い、協議の結果、来年度の目標を「地域と学校のウェルビーイングを目指すコミスク」とした。

(4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）の報告について

二橋教頭から、令和6年度の夢育やらまいか事業の報告があった。  
協議事項についてはすべて承認された。

その他報告

(1) 学校支援活動について(嶋田コーディネーターより)

今年度の活動実績の報告。スナッグゴルフ、体育授業のボランティアは今年度の新しい取り組み。

(2) 「いじめ」の現況について(二橋教頭より)

(3) 来年度の学校行事について(片瀬教務主任より)

連絡事項

・二橋教頭から、鹿玉地区見守りウォーキングマップの説明があった。地域の人たちが通学路を取り入れながら作ってくれたもので、登下校時間に合わせてウォーキングをしてもらうと子供たちの見守りになる。是非話題にしてほしい。

3月上旬に完成予定。4月に学校にも配布する予定。(鹿玉協働センター 椋氏)

・田口委員からゾーン30についての説明があった。パンフレットを自治会に回覧し、これから順次進めていく予定。普段生活していて危険だと思う箇所があれば意見を出してほしい。